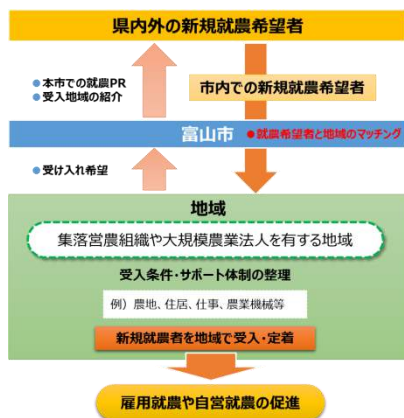


重点推進施策

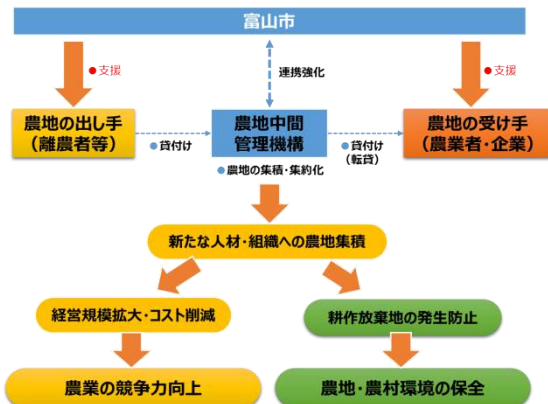
1. 新規就農の促進 ～就農希望者の受入体制の構築～

新規就農希望者が本市を選択し定着するため、集落営農組織や大規模農業法人を有する地域において、農協等関係機関との連携のもと、受入条件の整理やサポート体制の構築を図ります。



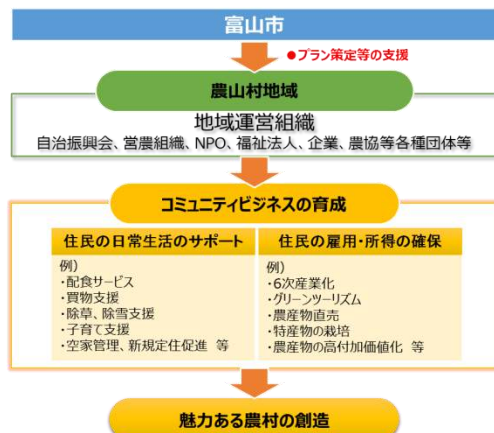
2. 担い手への農地集積の促進 ～農地中間管理機構を通じた 担い手への農地の集積・集約化～

高齢化に伴う離農等により農地の出し手が増えることが予想されることから、担い手への農地集積を推進し、本市農業の競争力向上や農地・農村環境の保全を図ります。



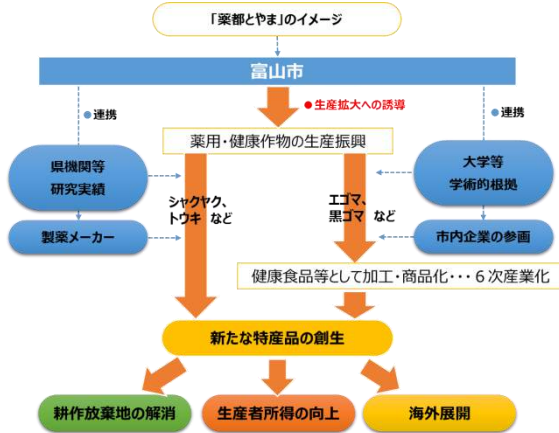
4. コミュニティビジネスの展開 ～コミュニティビジネスの 実施体制の構築への支援～

住民の日常生活において交流のある地区（旧村）を単位として、地域ぐるみで取り組む6次産業化やグリーンツーリズムなどのコミュニティビジネスを推進します。



3. 高収益作物の栽培推進 ～薬用作物・健康作物の生産振興と 6次産業化の推進～

シャクヤク、エゴマなどの薬用・健康作物の生産振興を図ることにより、本市の新たな特産品を創出し、耕作放棄地の解消、生産者所得の向上、本市全体のブランド力の向上につなげます。



富山市農業・農村振興計画

次世代の農業人が育つ 活力と魅力にあふれる
とやまの農業・農村

（概要版）
【平成29～38年度】



関係者の役割

農業者の役割
自らが主体的・意欲的に農業生産活動に取り組み、持続的・安定的な農業経営の発展に取り組むとともに、地域住民との連携・交流を進めながら農村地域の活性化に向けた中心的な役割を果たすことを期待します。

市民(消費者)の役割
農業・農村の持つ多様な役割や重要性を十分に理解し、食育や地産地消の取組、農地・農村環境の保全活動への積極的な協力を期待します。

関係団体の役割
地域の農業者や住民との関係を保ちながら、行政との連携を強化し、地域の中心的な団体として地域営農のマネジメントや地域資源の保全など幅広い事業展開により農業・農村の振興に向けた役割を果たすよう期待します。

行政等の役割
国や県、関係機関、関係団体と連携を図りながら、農業・農村の重要性を住民に広く発信し、本計画の施策・事業を総合的かつ計画的に実施し、農業・農村の振興を推進します。

平成29年3月
富山市

将来像 「次世代の農業人が育つ 活力と魅力にあふれる とやまの農業・農村」

農業・農村を取り巻く情勢

農業従事者の高齢化や担い手の減少
耕作放棄地の増加
農産物価格の低迷
FTAなど新たな貿易のルール作り
食の安全に対する関心の高まり など

本市の現状と課題

【農業】

農業を支える担い手の育成と確保

- ・ 農業従事者の高齢化
- ・ 離農による農業従事者の大幅な減少

農業経営の体質強化と収益力の向上

- ・ 水田農業に特化した農業構造
- ・ 米価等農産物価格の低迷
- ・ 経済のグローバル化
- ・ 鳥獣被害の増加

新鮮で安心な食料供給と食育の推進

- ・ 農業の担う食料を安定供給する役割
- ・ 安心・安全な農産物への消費者ニーズ
- ・ 市民の地産地消の意識の高まり

農業生産基盤の整備と維持

- ・ 競争力を高める農地の大区画化や汎用化
- ・ 土地改良施設の老朽化

【農村】

農村地域の利便性の向上と雇用の創出

- ・ 過疎化や少子高齢化の進行
- ・ 集落での共同活動の継続が困難

農村環境の保全

- ・ 耕作放棄地の増加
- ・ 農業者の減少に伴う農業用施設の維持が困難

都市との交流による活性化

- ・ 農村全体の所得の伸び悩み
- ・ 農業をやってみたい市民のニーズ

再生可能エネルギーの活用

- ・ 土地改良施設の維持管理費の負担の増加
- ・ 農業施設の維持に対する農業者の不安

将来イメージ

農業が魅力ある産業として再生し、多くの若者が農業に携わるとともに、家族経営の農家も地域農業の守り手としてその一翼を担いながら、集落営農組織や農業法人、認定農業者、企業、NPOなどの多様な担い手による活力ある農業が展開

主要農産物である米のブランド力を高めながら、地域の特性を活かした高収益作物の栽培や有機栽培などによる高付加価値化、農産物加工などの6次産業化、農産物・加工品の輸出などにより収益力が向上し、競争力のある力強い農業が展開

農業集落での6次産業による雇用の創出、日常生活の利便性向上に結びつくコミュニティビジネスが展開され、誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らせる農村が形成

豊かな自然環境と伝統文化が維持されるとともに、地域資源を活用した地域の魅力づくりが展開され、誰もが訪れたいくなる、誰もが暮らしたいくなる魅力ある農村が形成

主な成果指標

基準値
(H27年度)
↓
目標値
(H38年度)

【農業】

新規就農者数
0人→150人
ほか

水田農業における認定農業者等の面積シェア
42.3→70%
ほか

農林産物直売所の販売額
1,022百万円
→ 1,073百万円
ほか

基盤整備率
75.3%
→ 77.0%

【農村】

コミュニティビジネス実施組織数
0組織→5組織
ほか

多面的機能支払取組面積
7,276ha
→ 9,400ha
ほか

農業サポーター登録者数
621人
→ 900人
ほか

施策の体系

基本目標Ⅰ 活力ある強い農業の実現

1. 明日の農業を担う人材・組織の育成

- (1) 新規就農の促進
- (2) 意欲ある担い手の育成・確保
- (3) 企業・社会福祉法人等の農業参入の推進
- (4) 未来の担い手の育成

2. 農業の競争力の向上

- (1) 担い手への農地集積の促進
- (2) ICT等を活用した農業の効率化・低コスト化の推進
- (3) 有機栽培等による高付加価値化の推進
- (4) 農畜産物のブランド化と輸出等による販路拡大
- (5) 6次産業化の推進
- (6) 高収益作物の栽培推進
- (7) 鳥獣被害防止対策の充実

3. 新鮮で安心な食料の供給と食に対する理解の促進

- (1) 安心・安全で高品質な農畜産物の安定供給
- (2) 地産地消の推進
- (3) 食育・花育の推進

4. 活力ある農業を支える基盤の整備・維持

- (1) 農地の大区画化・汎用化
- (2) 土地改良施設の改良・更新

基本目標Ⅱ 魅力ある農村の創造

1. 農村コミュニティの活性化

- (1) コミュニティビジネスの展開
- (2) 多様なライフスタイルがおくれる農村の形成
- (3) 幅広い主体が活躍する農村コミュニティづくり

2. 農地・農村環境の保全

- (1) 多面的機能の維持・発揮
- (2) 耕作放棄地の再生と有効活用
- (3) 環境に優しい農業の推進
- (4) 再生可能エネルギーの活用推進

3. 都市との連携・交流の促進

- (1) 農業サポーターの育成
- (2) 都市農村交流の推進

地域別推進イメージ

